令和6年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業

在宅医療・介護スクラム塾

福法倫が斬る!?

「脱」困難事例

～どうしようを解きほぐすヒント～

【第1回】

支援者の説明や助言が届きにくい？？

～ 共に暮らしたいと願う一途な想い ～

【家族構成】

本人（80代）
統合失調症で長期間精神科病院に入院していた。
簡単な意思疎通は可能だった。

夫（80代）
毎日のように見舞いに行き、週に2回は外出許可をもらい介護タクシーでドライブに出掛けた。
夫と病院主治医との関係は良好であったが、夫は短絡的な気質があり、支援者との会話に出てきたもの（リフト車等）をすぐに購入するが扱えず処分する、を繰り返していた。また詳細を覚えていないなど物忘れがみられた。

同居の一人息子（50代）
統合失調症で、通院と食事（スーパーの総菜）の買い物以外、自宅から出ることはなかった。

コロナ禍になり、面会制限されるようになると、夫から妻の退院希望があった。病院側は、夫や息子の介護力の状況から自宅退院は困難と判断し、その都度説明をしていたが、日を増すごとに夫の訴えが強くなった。
「介護には慣れているから調整しなくていい」「年金が減らされ入院費が払えない」「今月中に退院させる」「別の病院に移す」「病院は何もしてくれない」など、主治医からの自宅への試験外出の提案を受け入れず、徐々に病院との関係が悪化していった。
X年X月X日、夫が妻を強制的に退院させようとしている。

グループワーク①

皆さんなら、どうすればいいと思いますか？

進行・記録・発表者を決めて、
グループワークを始めてください。

　病院はサービス調整、退院前カンファレンスを実施することができなかった。
また、診療情報提供書、看護サマリーなどの情報を準備できなかった。
　病院は、介護保険の申請がなく（暫定プランにて）介護支援専門員がいないため電話で地域包括支援センターへその後の支援を依頼した。

X年X月X日+2日、地域包括支援センター職員が自宅を訪問すると、ゴミやガラクタが外まで溢れ、辛うじて玄関先で夫に面接することはできたが、「何しに来た」「妻のオムツを替えて欲しい」と怪訝そうに語り、職員が「オムツ交換のためには、ﾎｰﾑヘルパーの利用が必要」と説明すると、「出来ないなら帰れ」と追い帰された。
清潔保持や食事の状況等について、夫の考えなどの聴取ができなかった。
地域包括支援センター職員は、急ぎヘルパーへ同行を依頼した。

X年X月X日+3日、地域包括支援センター職員と担当となる介護支援専門員とヘルパーで再度訪問したところ、本人に直接ケアを施すヘルパーのみ本人との接触が許された。
ヘルパーの報告より、臀部に褥瘡が発生していることが分かった。本人の意思疎通は困難であった。
介護支援専門員から、清潔保持のためデイサービスでの入浴の利用を提案するも、夫は妻を家から出すことに抵抗を示した。自宅での訪問入浴を提案するが、浴槽を置くスペースの確保が困難であった。

自宅は物が乱雑に置かれ、時には札束が置かれていることもあった。食事は息子が買ってきた総菜を夫が介助して食べさせていた。

息子は自分から話をすることは殆どなく、始終夫（父親）に怒鳴られていた。夫は息子について「親の年金を目当てに仕事しない」と漏らすことがあった。

グループワーク②

皆さんなら、
どのような支援が考えられますか？

取り急ぎ、介護支援専門員は夫同意のもと1日2回のヘルパーのプランを組んだ。

その後、介護支援専門員は2日に1日のペースで本人宅を訪問し様子を伺った。片付けを促し、夫も片付ける意思を見せるが、本人のベッド周りでヘルパーが作業する範囲が精一杯であった。夫はその場所で就寝していた。

その他のサービスの提案を受け入れず、すぐに怒り出すためコミュニケーションには神経を使った。

ヘルパー以外の介護サービスを拒み、1日2回のヘルパーを継続していたが、家族にてまめに体位変換をさせることができず、徐々に褥瘡が悪化していった。
ヘルパーから「皮膚科に診てもらったらいいのでは」と聞き、夫はすぐに近くの皮膚科に行き、往診するように頼んだとのことであったが、日時は覚えていなかった。
介護支援専門員が詳細を尋ねるも「もういい！」と突っぱねて、それ以上聴取することができなかった。
　間もなく皮膚科の往診が入り応急処置はできたが、往診継続はできないとのことであった。
翌日、感染を起こし高熱が出て救急搬送となった。

搬送先の病院でも面会制限があり、夫の強い希望ですぐに自宅退院となった。

その後、同様の褥瘡悪化を理由とした救急搬送、入退院を繰り返した矢先、夫が軽い脳梗塞を起こし、入院することになった。

残された息子も体調を崩し病院にかかるようになった。息子は家のお金のことは全く関与したことがなく、治療費など金銭的な心配から精神的に不安定な状況が続いている。

3者による総括